



設置とセットアップ

Install and maintain

NetApp
February 13, 2026

目次

設置とセットアップ	1
はじめに：設置とセットアップを選択してください	1
クイックガイド- AFF A220	1
ビデオ手順- AFF A220	1
詳細ガイド- AFF A220	2
手順 1：設置の準備	2
手順 2：ハードウェアを設置する	4
手順 3：コントローラをネットワークに接続する	5
手順 4：コントローラをドライブシェルフにケーブル接続する	14
手順 5：システムのセットアップと設定を完了する	15

設置とセットアップ

はじめに：設置とセットアップを選択してください

ほとんどの構成では、さまざまなコンテンツ形式から選択できます。

- ["クイックステップ"](#)

ステップバイステップの手順と追加コンテンツへのライブリンクが記載された PDF 形式のガイドです。

- ["ビデオの手順"](#)

手順を追ったビデオでご確認ください。

- ["詳細な手順"](#)

ステップバイステップの手順と追加コンテンツへのライブリンクが記載されたオンライン形式のガイドです。

システムが MetroCluster IP 構成の場合は、を参照してください ["MetroCluster IP 構成をインストールします"](#) 手順

クイックガイド- **AFF A220**

このページでは、ラックへの設置とケーブル接続からシステムの初期起動まで、システムの一般的な設置手順を図で示します。ネットアップシステムのインストールに精通している場合は、このガイドを使用してください。

設置およびセットアップ手順_PDF ポスター：

["AFF A220 / FAS2700 システムの設置とセットアップの手順"](#)

ビデオ手順- **AFF A220**

次のビデオでは、新しいシステムの設置とケーブル接続の方法を紹介します。

AFF A220 or FAS2700 Systems Installation and Setup Instructions

詳細ガイド - AFF A220

このページでは、一般的なNetAppシステムのインストール手順について詳しく説明します。

手順 1：設置の準備

AFF A220システムをインストールするには、NetApp Support Siteでアカウントを作成し、システムを登録し、ライセンスキーを取得する必要があります。また、システムに応じた適切な数とタイプのケーブルを準備し、特定のネットワーク情報を収集する必要があります。

サイト要件および構成済みシステムの追加情報の情報については、Hardware Universe にアクセスする必要があります。また、ご使用の ONTAP バージョンのリリースノートにアクセスして、このシステムの詳細を確認しておくことを推奨します。

["NetApp Hardware Universe の略"](#)

["使用しているバージョンの ONTAP 9 に対するリリースノートを検索してください"](#)

お客様のサイトで次のものを準備する必要があります。

- ストレージシステム用のラックスペース
- No.2 プラスドライバ
- Web ブラウザを使用してシステムをネットワークスイッチおよびラップトップまたはコンソールに接続するための追加のネットワークケーブル
- RJ-45 接続を備え、Web ブラウザにアクセスできるラップトップまたはコンソール

手順

1. すべての箱を開封して内容物を取り出します。
2. コントローラのシステムシリアル番号をメモします。



3. アカウントを設定します。
 - a. 既存のアカウントにログインするか、アカウントを作成します。
 - b. システムを登録します。

["ネットアップ製品登録"](#)

4. ラップトップに Config Advisor をダウンロードしてインストールします。

["ネットアップのダウンロード： Config Advisor"](#)

5. 同梱されていたケーブルの数と種類を確認し、書き留めておきます。

次の表に、同梱されているケーブルの種類を示します。この表にないケーブルが含まれていた場合は、Hardware Universe を参照してケーブルを特定し、用途を確認してください。

["NetApp Hardware Universe の略"](#)

ケーブルのタイプ	パーツ番号と長さ	コネクタのタイプ	用途
10GbE ケーブル (注文内容による)	X6566B-05-R6 (112-00297)、0.5m X6566B-2-R6 (112-00299)、2m		クラスタインターコネクトネットワーク
10GbE ケーブル (注文内容による)	パーツ番号 X6566B-2-R6 (112-00299)、2m または X6566B-3-R6 (112-00300)、3m X6566B-5-R6 (112-00301)、5m		データ
光ネットワークケーブル (注文内容による)	X6553-R6 (112-00188)、2m X6536-R6 (112-00090)、5m X6554-R6 (112-00189)、15m		FC ホストネットワーク

ケーブルのタイプ	パーツ番号と長さ	コネクタのタイプ	用途
Cat 6、RJ-45 (注文内容による)	パーツ番号 X6585-R6 (112-00291)、3m X6562-R6 (112-00196)、5m		管理ネットワークとイーサネットデータ
ストレージ (注文内容による)	部品番号 X66030A (112-00435)、0.5m X66031A (112-00436)、1m X66032A (112-00437)、2m X66033A (112-00438)、3m		ストレージ
Micro-USB コンソールケーブル	該当なし		Windows または Mac 以外のラップトップ / コンソールでソフトウェアをセットアップする際のコンソール接続
電源ケーブル	該当なし		システムの電源をオンにします

6. クラスタ設定ワークシート_ をダウンロードして記入します。

["クラスタ設定ワークシート"](#)

手順 2 : ハードウェアを設置する

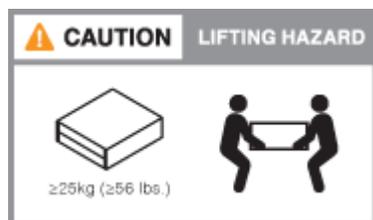
システムは、4 ポストラックまたはネットアップシステムキャビネットのいずれかに設置する必要があります。

手順

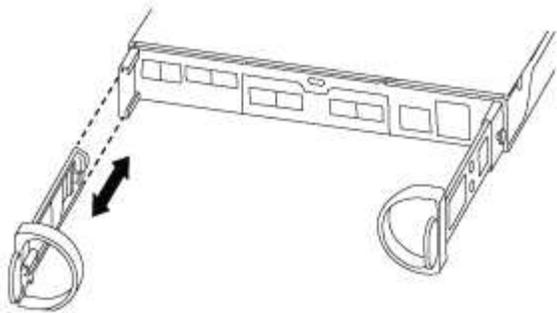
1. 必要に応じてレールキットを取り付けます。
2. レールキットに付属の手順書に従って、システムを設置して固定します。



システムの重量に関連する安全上の注意事項を確認しておく必要があります。



3. ケーブルマネジメントデバイスを取り付けます (図を参照)。



4. システムの前面にベゼルを配置します。

手順 3：コントローラをネットワークに接続する

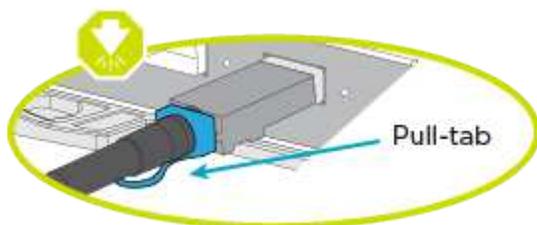
2 ノードスイッチレスクラスタメソッドまたはクラスタインターコネクトネットワークを使用して、コントローラをネットワークにケーブル接続できます。

オプション 1：2 ノードスイッチレスクラスタをケーブル接続し、ユニファイドネットワーク構成にする

コントローラの管理ネットワークポート、UTA2 データネットワークポート、および管理ポートは、スイッチに接続されます。クラスタインターコネクトポートは、両方のコントローラでケーブル接続されます。

システムとスイッチの接続に関する情報を、ネットワーク管理者に確認しておく必要があります。

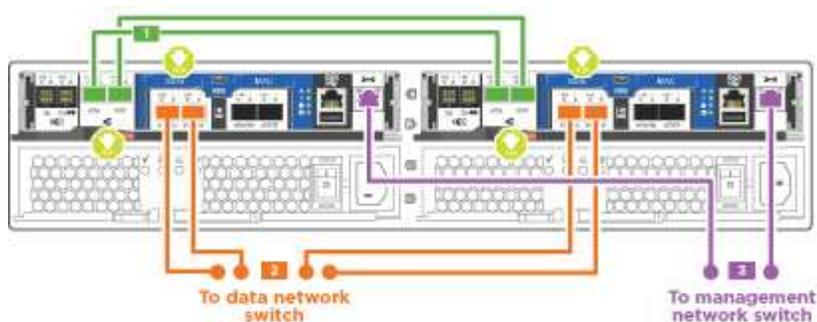
図の矢印を見て、ケーブルコネクタのプルタブの正しい向きを確認してください。



コネクタを挿入すると、カチッという音がしてコネクタが所定の位置に収まるはずですが、音がしない場合は、コネクタを取り外し、回転させてからもう一度試してください。

手順

1. この図またはステップバイステップの手順に従って、コントローラとスイッチをケーブルで接続します。



ステップ

各コントローラで実行します

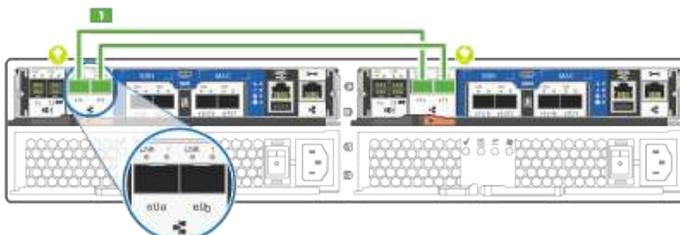
1

クラスタインターコネクケーブルを使用して、クラスタインターコネクポートを相互に接続します。

- e0a から e0a
- e0bからe0b



Cluster interconnect cables



2

次のいずれかのタイプのケーブルを使用して、UTA2 データポートをホストネットワークに接続します。

FC ホスト

- 0c と 0d
- * または * 0e と 0f A 10GbE
- e0c および e0d
- * または * e0e と e0f



一方のポートペアを CNA、もう一方のポートペアを FC として接続するか、あるいは両方のポートペアを CNA または FC として接続することができます。

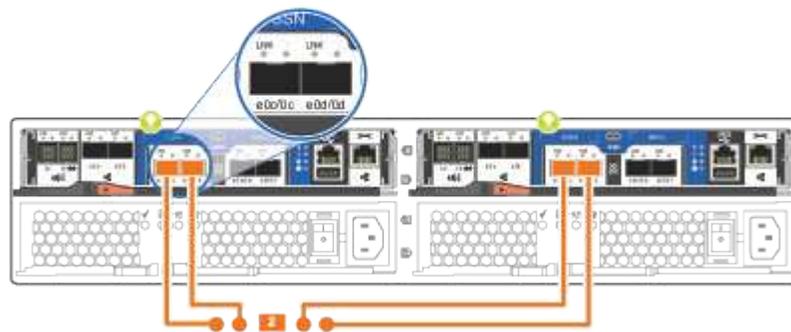


Optical network cables

SFP for optical cables



10GbE network cables



ステップ	各コントローラで実行します
<div data-bbox="183 159 256 212" style="background-color: #800080; color: white; padding: 2px 5px; font-weight: bold; font-size: 1.2em;">3</div>	<p>RJ45 ケーブルを使用して、e0M ポートを管理ネットワークスイッチに接続します。</p> <div data-bbox="639 306 1360 615" style="text-align: center;"> <p>Ethernet cables</p> </div>
<div data-bbox="183 709 248 772" style="background-color: red; color: white; padding: 5px; font-weight: bold; font-size: 1.5em;">!</div>	<p>この時点ではまだ電源コードをプラグに接続しないでください。</p>

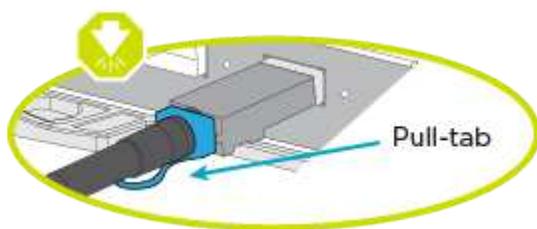
2. ストレージをケーブル接続するには、を参照してください [手順 4：コントローラをドライブシェルフにケーブル接続する](#)

オプション 2：スイッチクラスタとユニファイドネットワークのケーブル接続

コントローラの管理ネットワークポート、UTA2 データネットワークポート、および管理ポートは、スイッチに接続されます。クラスタインターコネクトポートは、クラスタインターコネクトスイッチにケーブル接続されます。

システムとスイッチの接続に関する情報を、ネットワーク管理者に確認しておく必要があります。

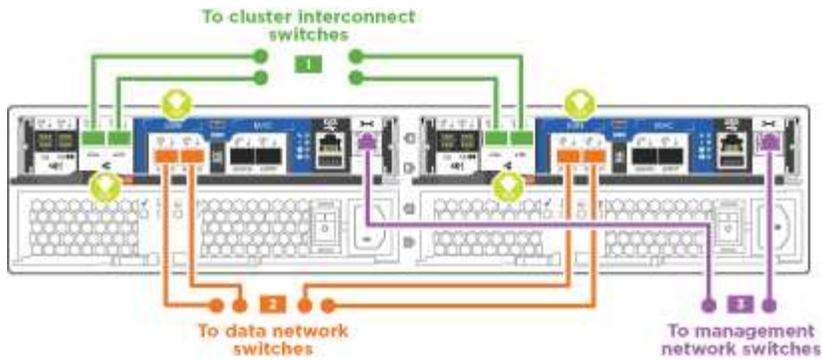
図の矢印を見て、ケーブルコネクタのプルタブの正しい向きを確認してください。

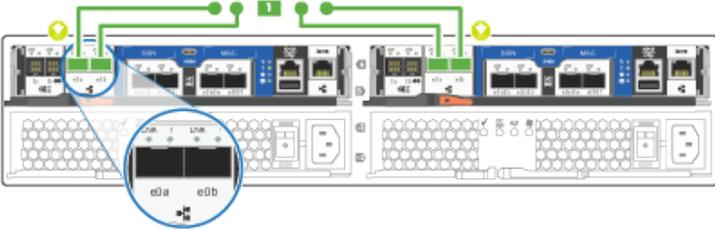


コネクタを挿入すると、カチッという音がしてコネクタが所定の位置に収まるはずですが、音がしない場合は、コネクタを取り外し、回転させてからもう一度試してください。

手順

1. 図またはステップバイステップの手順に従って、コントローラとスイッチをケーブルで接続します。



ステップ	各コントローラモジュールで実行します
<div style="background-color: #008000; color: white; padding: 5px; display: inline-block; width: 30px; height: 30px; text-align: center; line-height: 30px;">1</div>	<p>クラスタインターコネクトケーブルを使用して、e0a と e0b をクラスタインターコネクトスイッチに接続します。</p> <div style="text-align: center;">  <p>Cluster interconnect cables</p>  </div>

ステップ

各コントローラモジュールで実行します

2

次のいずれかのタイプのケーブルを使用して、UTA2 データポートをホストネットワークに接続します。

FC ホスト

- 0c と 0d
- または 0e および 0f

10GbE

- e0c および e0d
- または e0e と e0f

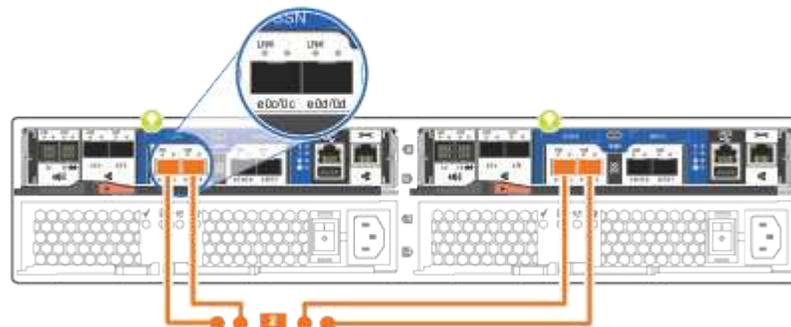


一方のポートペアを CNA、もう一方のポートペアを FC として接続するか、あるいは両方のポートペアを CNA または FC として接続することができます。


Optical network cables

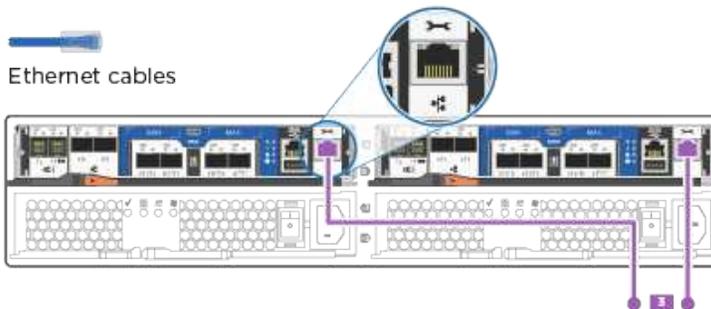

SFP for optical cables


10GbE network cables



3

RJ45 ケーブルを使用して、e0M ポートを管理ネットワークスイッチに接続します。



ステップ	各コントローラモジュールで実行します
	この時点ではまだ電源コードをプラグに接続しないでください。

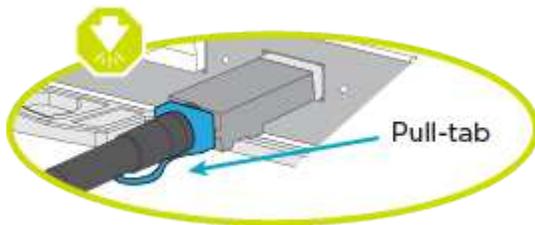
2. ストレージをケーブル接続するには、を参照してください [手順 4 : コントローラをドライブシェルフにケーブル接続する](#)

オプション 3 : 2 ノードスイッチレスクラスタをケーブル接続し、イーサネットネットワーク構成にする

コントローラの管理ネットワークポート、イーサネットデータネットワークポート、および管理ポートは、スイッチに接続されます。クラスタインターコネクトポートは、両方のコントローラでケーブル接続されます。

システムとスイッチの接続に関する情報を、ネットワーク管理者に確認しておく必要があります。

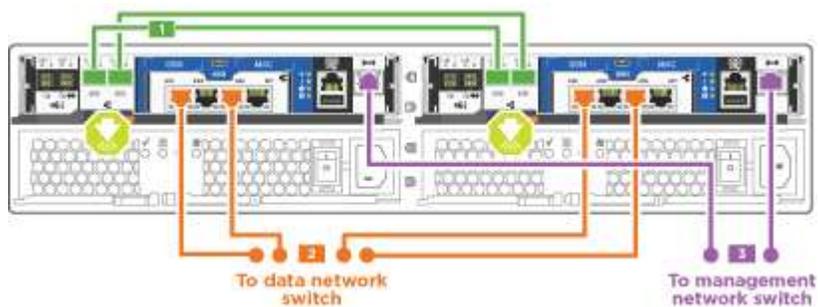
図の矢印を見て、ケーブルコネクタのプルタブの正しい向きを確認してください。

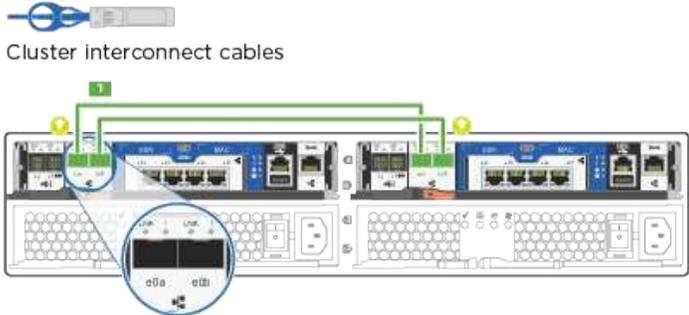
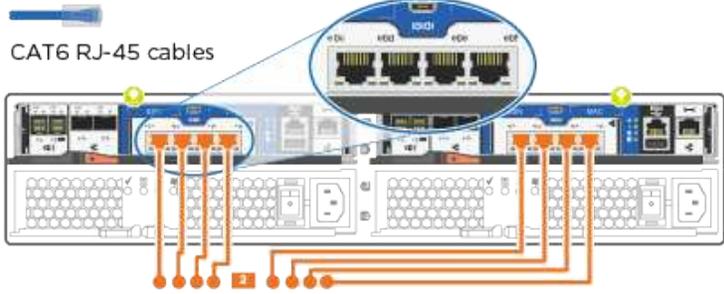
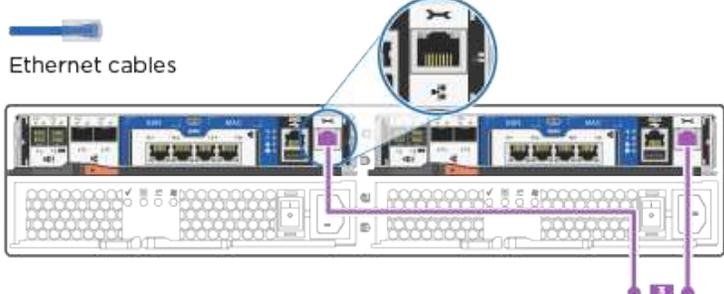


コネクタを挿入すると、カチッという音がしてコネクタが所定の位置に収まるはずですが、音がしない場合は、コネクタを取り外し、回転させてからもう一度試してください。

手順

1. この図またはステップバイステップの手順に従って、コントローラとスイッチをケーブルで接続します。



ステップ	各コントローラで実行します
<p>1</p>	<p>クラスタインターコネクケーブルを使用して、クラスタインターコネクポートを相互に接続します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • e0a から e0a • e0b と e0b <p></p> <p>Cluster interconnect cables</p>
<p>2</p>	<p>Cat 6 RJ45 ケーブルを使用して、e0c~e0f のポートをホストネットワークに接続します。</p> <p></p> <p>CAT6 RJ-45 cables</p>
<p>3</p>	<p>RJ45 ケーブルを使用して、e0M ポートを管理ネットワークスイッチに接続します。</p> <p></p> <p>Ethernet cables</p>
<p></p>	<p>この時点ではまだ電源コードをプラグに接続しないでください。</p>

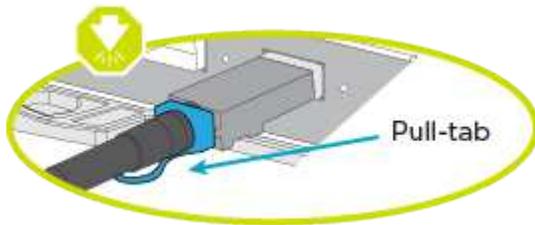
2. ストレージをケーブル接続するには、を参照してください [手順 4 : コントローラをドライブシェルフにケーブル接続する](#)

オプション 4 : スイッチクラスタのケーブル接続、イーサネットネットワーク構成

コントローラの管理ネットワークポート、イーサネットデータネットワークポート、および管理ポートは、スイッチに接続されます。クラスタインターコネクトポートは、クラスタインターコネクトスイッチにケーブル接続されます。

システムとスイッチの接続に関する情報を、ネットワーク管理者に確認しておく必要があります。

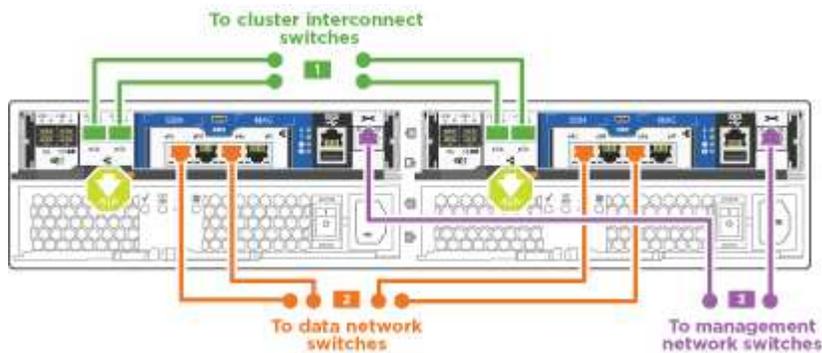
図の矢印を見て、ケーブルコネクタのプルタブの正しい向きを確認してください。

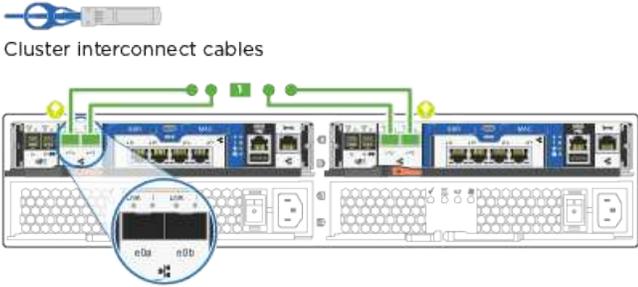
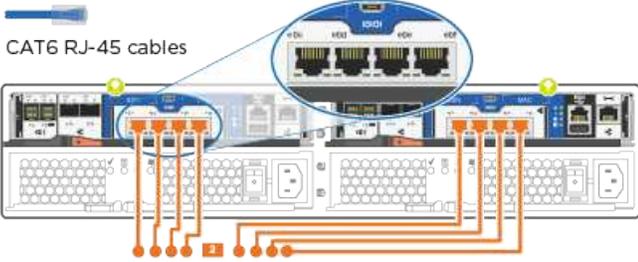
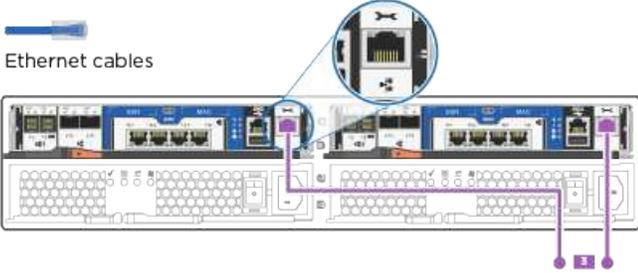


コネクタを挿入すると、カチッという音がしてコネクタが所定の位置に収まるはずですが、音がしない場合は、コネクタを取り外し、回転させてからもう一度試してください。

手順

1. 図またはステップバイステップの手順に従って、コントローラとスイッチをケーブルで接続します。



ステップ	各コントローラモジュールで実行します
1	<p>クラスタインターコネクトケーブルを使用して、e0a と e0b をクラスタインターコネクトスイッチに接続します。</p>  <p>Cluster interconnect cables</p>
2	<p>Cat 6 RJ45 ケーブルを使用して、e0c~e0f のポートをホストネットワークに接続します。</p>  <p>CAT6 RJ-45 cables</p>
3	<p>RJ45 ケーブルを使用して、e0M ポートを管理ネットワークスイッチに接続します。</p>  <p>Ethernet cables</p>
!	<p>この時点ではまだ電源コードをプラグに接続しないでください。</p>

2. ストレージをケーブル接続するには、を参照してください [手順 4 : コントローラをドライブシェルフにケーブル接続する](#)

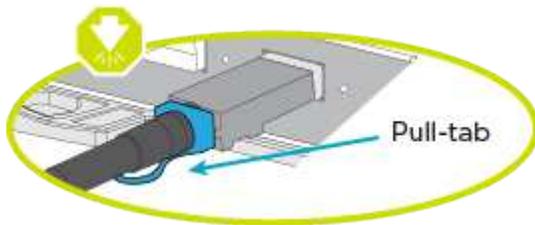
手順 4 : コントローラをドライブシェルフにケーブル接続する

オンボードストレージポートを使用して、コントローラをシェルフにケーブル接続する必要があります。ネットアップでは、外付けストレージを使用するシステムに MP-HA ケーブル接続を推奨しています。SAS テープドライブがある場合は、シングルパスケーブル接続を使用できます。外付けシェルフがない場合は、システムと一緒に SAS ケーブルを購入した場合、内蔵ドライブへの MP-HA ケーブル接続はオプションです（図では省略しています）。

オプション 1 : HA ペアのストレージを外付けドライブシェルフとケーブル接続する

シェルフ / シェルフ間をケーブル接続し、そのあとに両方のコントローラをドライブシェルフにケーブル接続する必要があります。

図の矢印を見て、ケーブルコネクタのプルタブの正しい向きを確認してください。

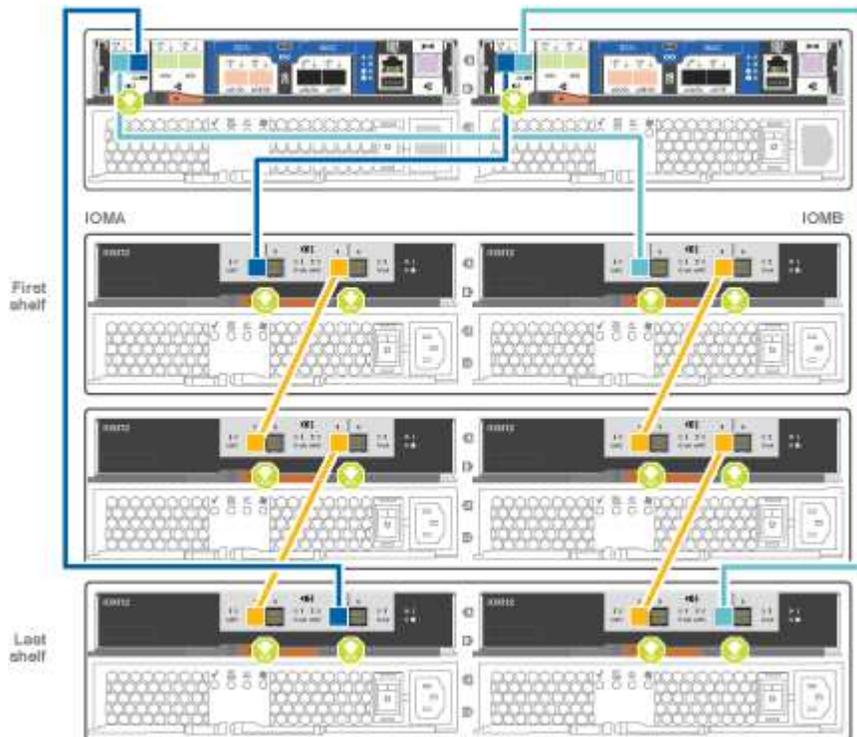


手順

1. 外付けドライブシェルフがある HA ペアをケーブル接続します。



この例では DS224C を使用していますサポートされている他のドライブシェルフでもケーブル接続はほぼ同じです。



ステップ	各コントローラで実行します
1	<p>シェルフ間でポートをケーブル接続します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • IOM A のポート 3 と直下のシェルフにある IOM A のポート 1 • IOM B のポート 3 と直下のシェルフにある IOM B のポート 1 
2	<p>各ノードをスタック内の IOM A に接続します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • コントローラ 1 のポート 0b とスタックの最後のドライブシェルフにある IOM A のポート 3 • コントローラ 2 のポート 0a とスタックの最初のドライブシェルフにある IOM A のポート 1 
3	<p>各ノードをスタック内の IOM B に接続します</p> <ul style="list-style-type: none"> • コントローラ 1 のポート 0a とスタックの最初のドライブシェルフにある IOM B のポート 1 • コントローラ 2 のポート 0b とスタックの最後のドライブシェルフにある IOM B のポート 3 

ドライブシェルフスタックが複数ある場合は、使用するドライブシェルフタイプに対応した [_ インストールおよびケーブル接続ガイド _](#) を参照してください。

2. システムのセットアップを完了するには、[を参照してください 手順 5：システムのセットアップと設定を完了する](#)

手順 5：システムのセットアップと設定を完了する

システムのセットアップと設定を実行するには、スイッチとラップトップのみを接続してクラスタ検出を使用するか、システムのコントローラに直接接続してから管理スイッチに接続します。

オプション 1：ネットワーク検出が有効になっている場合は、システムのセットアップを完了する

ラップトップでネットワーク検出が有効になっている場合は、クラスタの自動検出を使用してシステムのセットアップと設定を実行できます。

手順

1. 次のアニメーションに従って、1つ以上のドライブシェルフ ID を設定します。

[アニメーション-ドライブシェルフIDを設定します](#)

2. 電源コードをコントローラの電源装置に接続し、さらに別の回路の電源に接続します。

3. 両方のノードの電源スイッチをオンにします。



i 初回のブートには最大 8 分かかる場合があります。

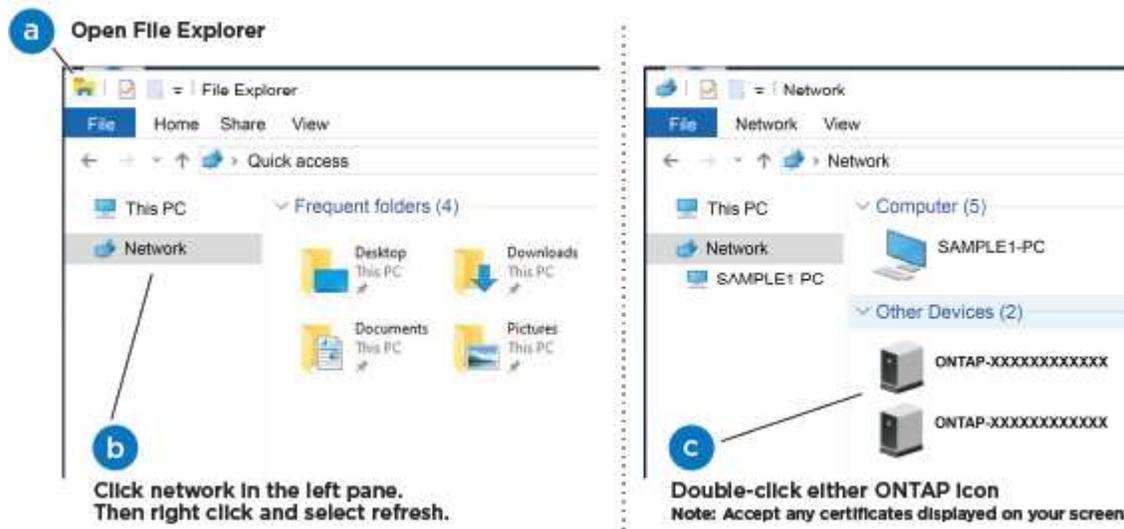
4. ラップトップでネットワーク検出が有効になっていることを確認します。

詳細については、ラップトップのオンラインヘルプを参照してください。

5. 次のアニメーションに従って、ラップトップを管理スイッチに接続します。

[アニメーション-ラップトップを管理スイッチに接続します](#)

6. 検出する ONTAP アイコンを選択します。



- a. エクスプローラを開きます。
- b. 左側のペインで*をクリックし、右クリックして[更新]*を選択します。
- c. いずれかの ONTAP アイコンをダブルクリックし、画面に表示された証明書を受け入れます。

i 「XXXXX」は、ターゲットノードのシステムシリアル番号です。

System Manager が開きます。

7. System Manager のセットアップガイドを使用して、_NetApp ONTAP 構成ガイド_ で収集したデータを基にシステムを設定します。

"『ONTAP 構成ガイド』"

8. Config Advisor を実行してシステムの健全性を確認します。
9. 初期設定が完了したら、ONTAPのその他の機能の設定についてに進みます ["ONTAP 9 のドキュメント"](#)。

オプション 2：ネットワーク検出が有効になっていない場合のシステムのセットアップと設定の実行

ラップトップでネットワーク検出が有効になっていない場合は、このタスクを使用して設定とセットアップを実行する必要があります。

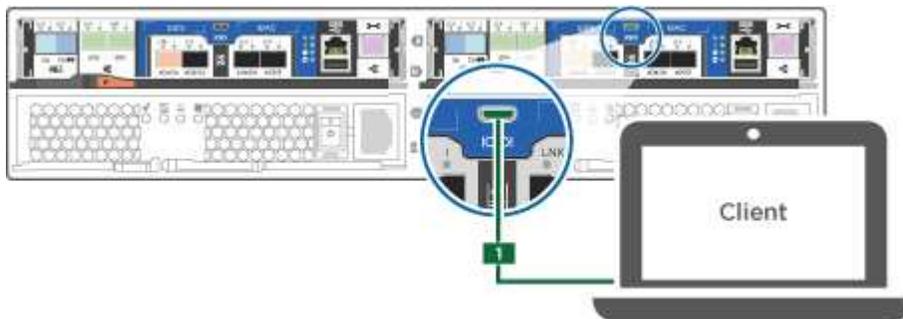
手順

1. ラップトップまたはコンソールをケーブル接続して設定します。
 - a. ラップトップまたはコンソールのコンソールポートを、115、200 ボー、N-8-1 に設定します。

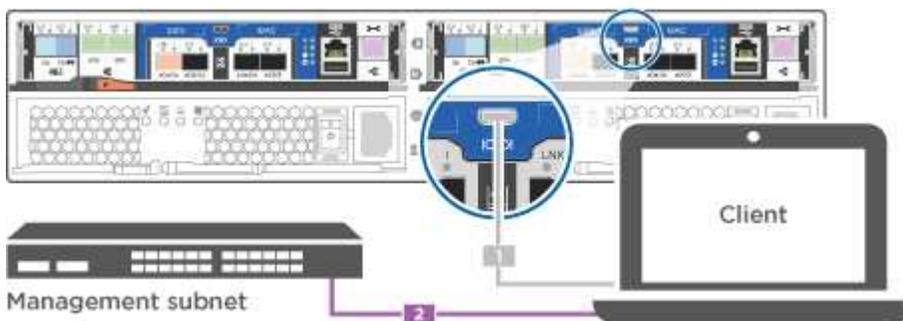


コンソールポートの設定方法については、ラップトップまたはコンソールのオンラインヘルプを参照してください。

- b. ラップトップまたはコンソールにコンソールケーブルを接続し、システムに付属のコンソールケーブルを使用してコントローラのコンソールポートに接続します。



- c. ラップトップまたはコンソールを管理サブネット上のスイッチに接続します。



- d. 管理サブネット上の TCP / IP アドレスをラップトップまたはコンソールに割り当てます。
2. 次のアニメーションに従って、1つ以上のドライブシェルフ ID を設定します。

アニメーション-ドライブシェルフIDを設定します

3. 電源コードをコントローラの電源装置に接続し、さらに別の回路の電源に接続します。
4. 両方のノードの電源スイッチをオンにします。



i 初回のブートには最大 8 分かかる場合があります。

5. いずれかのノードに初期ノード管理 IP アドレスを割り当てます。

管理ネットワークでの DHCP の状況	作業
を設定します	新しいコントローラに割り当てられた IP アドレスを記録します。
未設定	<p>a. PuTTY、ターミナルサーバ、または環境に対応した同等の機能を使用して、コンソールセッションを開きます。</p> <p>i PuTTY の設定方法がわからない場合は、ラップトップまたはコンソールのオンラインヘルプを確認してください。</p> <p>b. スクリプトからプロンプトが表示されたら、管理 IP アドレスを入力します。</p>

6. ラップトップまたはコンソールで、System Manager を使用してクラスタを設定します。

a. ブラウザでノード管理 IP アドレスを指定します。

i アドレスの形式は、`https://x.x.x.x` です

b. NetApp ONTAP 構成ガイドで収集したデータを基にシステムを設定します。

"『[ONTAP 構成ガイド](#)』"

7. Config Advisor を実行してシステムの健全性を確認します。

8. 初期設定が完了したら、ONTAPのその他の機能の設定についてに進みます "[ONTAP 9 のドキュメント](#)".

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。